

## 第3章 五輪に向けた基盤整備

### 第1節 アクセスの確保

大量の人を円滑に輸送するため、五輪までに以下の輸送網を整備した(ただし、州政府は、その大部分は五輪のために整備したのではなく、都市基盤整備の一環であると説明している)。

輸送テストは、五輪公園駅が完成した1998年3月以降のプレ五輪的行事時に行い<sup>19</sup>、2000年5月までに延べ360万人分のテストを行った。

#### 1. シドニー空港

空港改造計画(the Airport's enhancement program)により、国際線ターミナル改築(8億ドル)(駐機場10か所増設、チェックインカウンター40%増設、ショッピングエリアを8,000 m<sup>2</sup>に拡大等)、1時間当りの乗客処理能力を4,500人から7,000人にアップ。

#### 2. シドニー空港→シドニー市内 道路

シドニー東部経由空港行高速道路(空港-シドニー市内)建設(7億2,000万ドル)により、これまで30分かかっていた市内から空港までの所要時間が10分間短縮した。

同建設は、BOOT方式により建設され、2000年5月に完成。現在北行きの場合のみ\$3.30(GST<sup>20</sup>含む)の通行料を徴収している。

#### 鉄道

エアポートリンク(空港-セントラル駅)を建設(2000年5月開通)。

#### 3. シドニー市内→五輪公園

#### 道路

シドニー市南西部からシドニー郊外(西部)へ高速道路を建設。

#### 鉄道

既存路線から五輪公園駅へループ線を建設。

#### 海上輸送

30分で移動可能。時間が正確であることから、五輪中は五輪関係者用として700人乗りフェリーを運航。

<sup>19</sup> 第1回テストは、1998年4月3日-18日開催のロイヤル・イースター・ショー。

<sup>20</sup> General Sales Taxで、日本でいう消費税。2000年7月に導入され、税率は10%。内税方式。

#### 4. 五輪公園

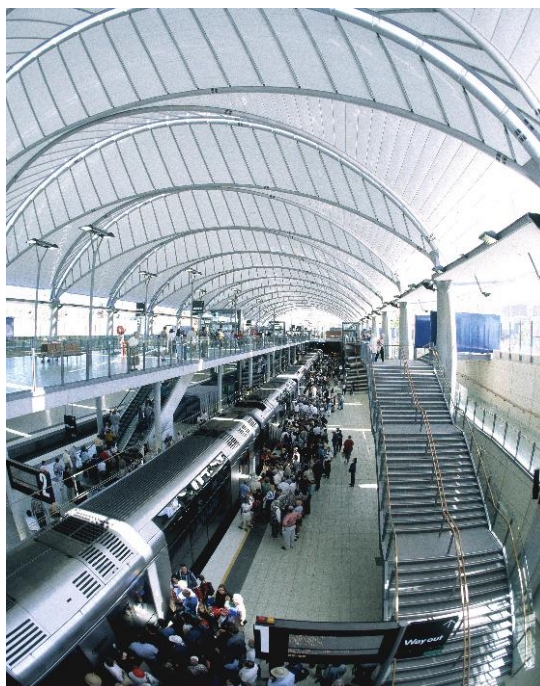
##### 鉄道

五輪公園駅<sup>21</sup>を建設(9,700 万ドル)。

1 時間で 50,000 人を輸送。

(右:オープンした頃の五輪公園駅)

(©OCA)



##### バス

五輪公園メイン道路(the Boulevard)上に 18 台分の駐車場を設置。1 時間で 500 台が運行可能。1 時間で 28,000 人を輸送。

※ 観戦チケットを持たない者は、五輪公園入場パスを購入した者を除き、五輪公園へは入場できないこととされた。

### 第2節 大会期間中の交通事情

#### 1. 大会期間中の交通規制・交通事情

ORTA では大会期間中の市内の人出を 1 日 40 万人と予測。9 月 13 日(開幕 2 日前)から 10 月 3 日(閉幕 2 日後)までの間の交通規制に関する、1 日 45 万人までが輸送可能なガイドライン<sup>22</sup>を作成。

五輪中の交通規制・交通事情等については、以下のとおり。

##### ① シドニー市中心部(CBD<sup>23</sup>)内への車乗り入れの自粛

業務用車両の乗り入れ規制(3トン未満は午前 1 時～午前 10 時、3トン以上は午前 1 時～午前 7 時のみ)、また、一般車両の市内主要道路への乗り入れを禁

<sup>21</sup> 1996 年 4 月着工、1998 年 3 月完成

<sup>22</sup> Olympic Roads and Transport Authority (ORTA) Olympic Transport Strategy (21 February 2000)

<sup>23</sup> Central Business District

止。

② 公共交通機関の増便

バス—五輪期間中 3,800 本を増発。

CBD 内の無料循環バスの運行(午前 9 時 30 分～午前 1 時まで 5 分間隔)。  
鉄道—増便及び 24 時間運行。

③ 五輪ルートの指定

五輪関係者を輸送するため ORTA は、各競技場、選手村、シドニー市内、空港などを結ぶ特定の道路を「五輪ルート」に指定し、交通規制を行った。クリアウエー<sup>24</sup>やトランジットレーン<sup>25</sup>規制の他に、五輪ルートの一部(片側 3 車線以上の道路に限る)に、五輪専用車線<sup>26</sup>を設けた。

④ チケット所有者への便宜

チケット所有者は、当日と翌日の午前 4 時まで無料で鉄道を利用できることとし、改札での混雑を緩和した。チケット所有者は、直接観戦に関係ない路線の乗車も可能であった。

⑤ 駐車場の設置

公共交通機関に隣接しない地域や郊外の住民のために、26 か所に無料駐車場を設置し、マイカー利用後、公共交通機関に乗車できる(パーク&ライド)ようにした。

⑥ 罰則の強化

駐車違反罰金 348 ドル(平時 60 ドル)、五輪レーン走行 300 ドル、五輪施設から 5km 以内の無許可の駐車場設置 20,000 ドル(法人の場合)等。

## 2. 五輪中の輸送トラブル等について

- ・ 五輪中のシドニーでは鉄道の脱線はなく、定時運行率も上昇した。
- ・ 五輪公園から西へ向かうソフトボール競技において、選手用バスが渋滞で遅れ、試合開始が 45 分遅れた。五輪開催後初の平日であったことや、五輪公園から西へ向かう高速道路に五輪専用車線がなかったことなどが原因。

## 第3節 市街地整備(シドニー市の取り組み)

1996 年以降、3 億 2,000 万ドルをかけて市街地整備を推進。歩道拡張、ベンチ、屋根付バス停、公衆電話、街灯、花壇等を整備した。

特に、1999 年度(1999 年 7 月—2000 年 6 月)は、民間も含めて 23 億ドル規模の開発が行われた。分野別では、住居(6 億ドル:2,700 戸)、ホテル等(5.2 億ドル:3,250 室)、商業及び公共サービス(1.2 億ドル:373,000 m<sup>2</sup>相当)が中心。

<sup>24</sup> 公共交通機関及びタクシー以外は標識に指示された時間内、駐停車禁止。

<sup>25</sup> 指定された人数(2 人あるいは 3 人)が乗車している車両以外は走行禁止。

<sup>26</sup> 五輪関係車両、緊急車両、観客輸送のための公共交通機関のみ利用可。

市街地整備の例としては、シティポール(広告用の横断幕専用のポールで、様々なタイプがある。)、分別収集用ごみ箱の設置(①ボトル・缶・プラスチック(リサイクル用)、②食材ごみ・紙ごみ、③一般ごみの3種)、罰金の強化(レストランでの喫煙(喫煙者550ドル、喫煙を許した店最高5,500ドル)やポイ捨て(火のついたたばこ200ドル、火の消えたたばこ60ドル、ビン類370ドル)などがある。